



2023年3月14日

各 位

会 社 名 株式会社プラスアルファ・コンサルティング
代 表 者 名 代表取締役社長 三 室 克 哉
(コード番号：4071 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役 コーポレート部門担当 野 口 祥 吾
(TEL. 03-6432-0427)

タレントパレット、企業の健康経営を支援する
ヘルスケア管理機能を大幅強化
～健診データ管理から産業医面談の実施まで、一気通貫に健康管理を実現～

当社は、科学的な人材活用や人的資本の開示、人事業務のDX化、リスクリングの推進などを背景に、多くの企業で導入が進んでいるタレントマネジメントシステム「Talent Palette（以下：タレントパレット）」において、健康経営を促進するうえで不可欠な社員の健康診断データを一元管理し可視化する「ヘルスケア管理機能」を大幅に強化し、健康診断の申込から健診データの取り込み、健診後の産業医面談までの一連の業務をシステム上で完結できるようになりましたことをお知らせします。

健康診断実施における一連の業務をより効率的に行えるほか、産業医面談機能を利用すれば、長時間残業、休職者への面談、ストレスチェック実施後の面談等にも利用可能となります。

また、各医療機関から紙で返送される健康診断結果をタレントパレットに取り込む作業を弊社で代行するオプションサービスも提供します。

【添付資料】 プレスリリース：


タレントパレット、企業の健康経営を支援するヘルスケア管理機能を大幅強化
～健診データ管理から産業医面談の実施まで、一気通貫に健康管理を実現～

以 上

Press Release

報道関係各位

2023年3月14日

 プラスアルファ・コンサルティング

株式会社プラスアルファ・コンサルティング

タレントパレット、企業の健康経営を支援する ヘルスケア管理機能を大幅強化

～健康診断データ管理から産業医面談の実施まで、一気通貫に健康管理を実現～



**企業の健康経営を支援する
ヘルスケア管理機能を大幅強化**

健康診断データ管理から産業医面談の実施まで、一気通貫に健康管理を実現



 プラスアルファ・コンサルティング


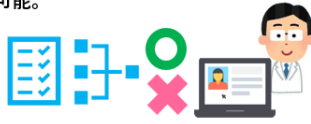




株式会社プラスアルファ・コンサルティング（本社：東京都港区、代表取締役社長：三室克哉、証券コード：4071）は、科学的な人材活用や人的資本の開示、人事業務のDX化、リスクリングの推進などを背景に、多くの企業で導入が進んでいるタレントマネジメントシステム「Talent Palette（以下：タレントパレット）」において、健康経営を促進するうえで不可欠な社員の健康診断データを一元管理し可視化する「ヘルスケア管理機能」を大幅に強化し、健康診断の申込から健診データの取り込み、健診後の産業医面談までの一連の業務をシステム上で完結できるようになりました。健康診断実施における一連の業務をより効率的に行えるほか、産業医面談機能を利用すれば、長時間残業、退職者への面談、ストレスチェック実施後の面談等にも利用可能となります。

また、各医療機関から紙で返送される健康診断結果をタレントパレットに取り込む作業を弊社で代行するオプションサービスも提供します。

今後、タレントパレットでは休職者対応の機能やヘルスケアダッシュボードを搭載することで、社員のヘルスケア管理を一層強化するとともに、健康情報の集約により人的資本情報の開示に向けた支援もしていく予定です。

■ヘルスケア管理機能の主な特徴

健康診断受診申し込み状況の把握と受診リマインドメール送信、健診結果データの取り込みと結果レポートの社員閲覧、産業医面談の実施、労基署への実施報告用集計、健康ダッシュボードと、健康診断管理の一連の業務をカバーします。

<h4>健診申し込み管理</h4> <p>社員が健診受診予約状況を申告。全社員の確実な受診を促進するため未予約者に対してリマインドメール送信が可能。また、再検査対象者に対しても受診勧奨メール送信が可能。</p> 	<h4>健診データ管理</h4> <p>医師の監修のもと、143の検診項目を標準装備。CSVデータを一括で取り込み、日本人間ドック学会の判定基準に基づき4段階に自動判定可能。</p> 	<h4>健診結果の閲覧</h4> <p>健康診断の結果をタレントパレットから参照可能。経年の変化も確認することが可能。</p> 
<h4>産業医面談管理</h4> <p>産業医面談を人事から設定したり、社員から申し込みさせることが可能。産業医は以前の面談内容や健康診断の結果を確認しながら、面談結果を記録することが可能。</p> 	<h4>労基署への実施報告</h4> <p>労基署に報告する「定期健康診断結果報告書」の作成に必要な、受診労働者数や検査項目別の有所見者数を集計。</p> 	<h4>ダッシュボード</h4> 実装予定 <p>健康診断の結果を集計し、受診率や有所見者数、有所見者の割合など、時系列推移も含め可視化。</p> 

■健診結果レポート（社員本人が利用できる機能）

各検診項目について、判定基準によって「異常なし」なら黄緑色、「軽度異常」なら黄色というように分かりやすく、過去3回分の結果を並べて確認できます。また項目ごとに、その項目が何を診ているのかといった解説文も表示します。

結果レポートはPDF形式で印刷することも可能です。

<レポート画面イメージ>

基本情報		判定区分	
名前	竹岡真司郎	A 異常なし	基準値の範囲内であり異常はありません
生年月日	1980/01/01	B 軽度異常	わずかに基準範囲を外れているものの、大きな異常ではありません
性別	男性	C 要再検査・生活改善	再度検査を受ける必要があります
受診時年齢	50	D 要精密検査・治療	さらに詳しく検査をするために、専門医による精密検査が必要です

カテゴリ別判定				
	2022年度	2021年度	2020年度	解説
血圧	A(異常なし)	A(異常なし)	A(異常なし)	動脈中の血液の圧力を測定することによって心臓のポンプが正常に働いているか、また高血圧かを判断します。
貧血検査	B(軽度異常)	A(異常なし)	A(異常なし)	血液検査により、血液中の「赤血球数」「ヘモグロビン」「ヘマトクリット」を調べて貧血の有無を判定します。男女によって基準値が異なります。
肝機能検査	A(異常なし)	A(異常なし)	A(異常なし)	血液検査で肝臓の働きや状態を調べる検査です。「AST」「ALT」「γ-GTP」などの検査結果によって、肝臓の異常や胆管の異常(胆石など)を調べます。
血中脂質検査	B(軽度異常)	A(異常なし)	A(異常なし)	血液中の「中性脂肪」「HDLコレステロール」「LDLコレステロール」「総コレステロール」などの数値を調べ、生活習慣病の一つである脂質異常症(高脂血症)の疑いがあるかを調べます。
血糖検査	B(軽度異常)	A(異常なし)	A(異常なし)	血液中のブドウ糖(血糖)量を調べることで糖尿病の判定をします。食事によって血糖値は敏感に上下するため、状況に応じて、食事前に測定する「空腹時血糖値」、食事の時間を考えずに測定する「随時血糖値」、一定量のブドウ糖を水に溶かしたものを飲んだ後の血糖値の変化を調べる「75g経口ブドウ糖負荷試験」を測定します。
尿検査(糖)	A(異常なし)	A(異常なし)	A(異常なし)	尿のなかの糖分を試験紙を用いて調べる検査で、糖尿病の有無を判断するのに有効です。ただ、この検査だけで糖尿病と確定できるわけではありません。陽性と出たら、空腹時血糖やHbA1cやブドウ糖負荷試験を受け、それらの検査を総合して糖尿病かどうかを診断します。
尿検査(蛋白)	A(異常なし)	C(要再検査・生活改善)	A(異常なし)	腎臓の傷害により尿蛋白が増えます。腎炎、糖尿病腎症などが考えられます。

■ 社員の心身の健康に関する産業医面談の管理を DX 化

労働安全衛生法により、事業者は毎年定期健康診断を実施し、結果を把握したうえで適切な措置を講じることが義務付けられています。

健康診断後の適切な措置として、産業医が健診結果を確認し、面談が必要な社員と対面もしくは Web で面談を実施したうえで、これまでの働き方を継続して問題ないか、就業環境や労働時間、内容などを見直す必要がないか、事業者に対して提言し、事業者は提言を踏まえた働き方の見直しを実施します。

定期健康診断の結果に伴う面談のほかにも、長時間労働の対象者との面談や、ストレスチェック結果からの面談、メンタルヘルスに関する相談など、従業員が心身ともに健康的に働き続けるために産業医面談が実施されていますが、人事による面談設定や産業医への情報提供、面談実施後の産業医による面談内容の記録な

ど、アナログで非効率な対応を継続しているケースが多く見受けられる領域となっています。

このたびは「タレントパレット」では、これらの産業医面談の実施および面談記録に対応した「面談管理」機能を、既に提供中の健康診断データを管理する「ヘルスケア管理オプション」の機能強化として新たに提供開始し、健康診断データの管理から産業医面談の実施と面談記録の管理までトータルで DX 化できるようになりました。

面談管理機能をご利用いただくことで

- 健康診断結果や長時間労働状況などから面談が必要と判断される従業員との産業医面談の設定
- 従業員の希望により実施する産業医面談可能枠の設定
- 各従業員による産業医面談の申し込み
- 人事による、面談実施前の必要事項の入力（産業医への情報提供）
- 対面ではなくリモート環境で産業医面談を実施する Web 面談（Zoom 連携）
- 産業医による面談実施結果の記録

が可能となります。

■ 面談管理機能で対応する一連の業務フロー

健康診断結果や長時間労働状況などから、面談が必要と判断される従業員との産業医面談を人事から設定するだけでなく、従業員の希望により申し込める産業医面談可能枠を設定し、その枠の中から各従業員が産業医面談の申し込みをすることが可能です。

面談が予定されたら、人事は産業医に連携する面談実施前の必要事項を入力し、必要に応じてファイル添付をすることも可能となります。

対面ではなくリモート環境で産業医面談を実施する場合には、Web 面談として設定することで Web 面談（Zoom）の URL を自動的に発行し、面談予定画面から直接 Web 面談画面を開くことが出来ます。

面談実施後には、産業医が面談実施結果を記録しますが、項目ごとで産業医のみが参照できる項目や人事に連携する項目といった権限設定が可能です。



■ 面談管理で使用する項目は以下のものをテンプレートとして標準搭載しています

面談に関連する項目として、厚労省のサイト「こころの耳」

(<https://kokoro.mhlw.go.jp/mensetsushidou/>) で公開されている面接指導の記録用紙より、下表の項目をデフォルトで用意します。

追加で必要な項目があれば、お客様にて任意の項目を追加し、誰が参照・編集できるのかを設定することが可能です。

権限 (デフォルト設定)	項目
人事が面談実施前に入力する項目	業務内容
	勤務形態
	勤務形態 (その他)
	時間外・休日労働時間状況
	勤怠状況
面談実施後に産業医が入力し、産業医のみ参照・編集できる項目	長時間労働の場合、その発生理由
	今後の見通し
	仕事の負担 (質的)
	仕事の負担 (量的)
	仕事の裁量度
	職場の支援度
	その他
	既往歴・現病歴
	既往歴・現病歴 (その他)
	治療内容
	血圧
	体重
	体重変化
	自覚症状
	自覚症状 (その他)
	抑うつ症状
	食欲
	平均睡眠時間
	睡眠障害
	喫煙 (1日あたり本数)
	飲酒 (週あたり飲酒日数)
	飲酒内容・量
寝酒	
余暇の過ごし方	

	同居人等
	仕事以外のストレス要因
	課題・対策
面談実施後に産業医が入力し、人事も参照できる項目	就業区分
	就業条件
	労働時間の措置
	労働時間の制約内容
	労働時間の措置（その他）
	労働時間以外の措置
	業務量・業務内容の調整内容
	労働時間以外の措置（その他）
	措置期間
	本人への指導
	措置・指導に関する追記事項

■ 健診結果データ化代行オプション

医療機関から紙で返送される定期健康診断の結果をタレントパレットのヘルスケア管理機能に取り込める CSV フォーマットに変換する作業およびお客様環境へのデータ登録まで代行します。

データ化対象項目として、「労基署対応 40 項目」、「法定健診対応 57 項目」、「法定健診および特定健診対応 86 項目」の 3 パターンから選択していただけます。（※いずれでもない場合は個別見積りにて対応します。）

◆ 労基署への実施報告書対応40項目

個人特定キー項目	社員番号
基本項目	健診実施年月日
	受診時年齢
	健診実施機関名称
血压	健診コース名称
	収縮期血压(1回目)
	拡張期血压(1回目)
	収縮期血压(2回目)
	拡張期血压(2回目)
	収縮期血压(平均値)
血中脂質検査	拡張期血压(平均値)
	中性脂肪(トリグリセリド)
	HDLコレステロール
肝機能検査	LDLコレステロール
	AST (GOT)
	ALT (GPT)
血糖検査	γ-GTP(γ-GT)
	空腹時血糖(FPG)
尿検査	HbA1c(NGSP値)
	尿糖
貧血検査	尿蛋白
	血色素量(ヘモグロビン値)
心電図検査	心電図(所見の有無)
	心電図所見
胸部X線検査	胸部X線検査(所見の有無)
	胸部X線検査(所見)
喀痰検査	喀痰検査(所見の有無)
	喀痰検査(所見)
聴力検査	聴力(右:1000Hz)
	聴力(右:1000Hz) (所見の有無)
	聴力(右:4000Hz)
	聴力(右:4000Hz) (所見の有無)
	聴力(左:1000Hz)
	聴力(左:1000Hz) (所見の有無)
	聴力(左:4000Hz)
	聴力(左:4000Hz) (所見の有無)
	聴力(その他の検査方法)(所見の有無)
	聴力(その他の検査方法)(所見)
質問票	服薬の有無
	薬剤名

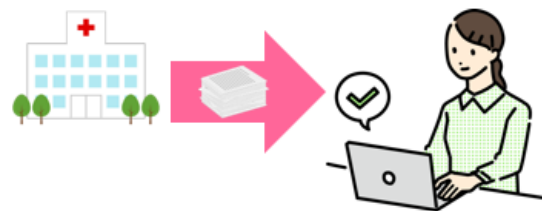
◆ 法定健診対応57項目

左記「労基署への実施報告書対応」40項目に加え、以下17項目を追加

身体計測	身長
	体重
	BMI
問診	腹囲(実測)
	既往歴
	具体的な既往歴
	自覚症状
	自覚症状所見
	他覚症状
生化学検査	他覚所見
	血清クレアチニン
	随時血糖
血糖検査	赤血球数
血液検査	視力(右)
	視力(右:矯正)
	視力(左)
	視力(左:矯正)

◆ 法定健診および特定健診対応86項目

上記「法定健診対応」57項目に加え、更に問診票項目など29項目を追加



今後もタレントパレットは、働き方改革や企業の人事戦略に貢献するため、より多くの企業様に社員データを活用した科学的人事戦略を実践していただけるよう、新機能の企画・開発の強化およびご支援に努めてまいります。

<Talent Palette (タレントパレット) について>

「タレントパレット (<https://www.talent-palette.com/>)」は、人材戦略に必須となる採用から育成、配置、評価、抜擢・活躍までを一気通貫で行い、人材情報を活用した科学的人事戦略を実現するタレントマネジメントシステムです。当社はこれまで 3,000 社超のビッグデータ活用支援を行ってきた実績があり、そこで磨き上げたデータ活用技術のノウハウを活かしています。タレントパレットの導入法人数は約 2,000 社を超え(契約社数 1,103 社、22 年 12 月末時点)従来は管理するのみに留まっていた人材情報を分析し、そのデータを網羅的に活用することで経営層の意思決定を後押しします。具体的には人事情報、経歴、スキル、マインド(適性)、社員の希望や想い、日々のモチベーションやエンゲージメント、ヘルスケア(健康)までのデータを集約・活用することができます。これらのデータを分析することにより異動シミュレーションや研修まで含めた人材育成、テキストマイニングを活かした離職予兆の抽出、採用ミスマッチ防止、人的資本 KPI のモニタリングなど、あらゆる人事戦略においてデータを活用した科学的人事戦略を実現します。

<株式会社プラスアルファ・コンサルティングについて>

株式会社プラスアルファ・コンサルティング (<https://www.pa-consul.co.jp/>) は『あらゆる情報から付加価値を生み出し続ける、見える化プラットフォーム企業』として、2006年の設立以来、顧客の声や顧客データ/購買データ、人事情報のようなビッグデータを「見える化」し気づきを与える力を持つ、「テキストマイニング」や「データマイニング」などの技術を核としたクラウドソリューション事業を行っています。様々な情報を「見える化」することで、お客様のビジネスに+α（プラスアルファ）の価値を創造するためのソフトウェアの開発・販売、コンサルティング、新規事業創出を行っています。

<プレスリリースに関するお問合せ>

株式会社プラスアルファ・コンサルティング

タレントパレット事業部

担当：久保田

TEL：03-6432-4018 / E-mail：tp_info@pa-consul.co.jp